



人と人のふれあいが豊かな心を育む

～文章を書いてみよう～

作品募集中!

■第40回はがきキャンペーン

応募資格：高校生以上
テーマ：あのときはありがとう
～心から伝えたい～

応募方法：1) はがき
2) メールまたは運動本部WEB
サイト内応募フォームで、
文字数は600字以内

締め切り：2024年9月4日(水)

■第49回作文コンクール

応募資格：小学生・中学生
テーマ：「小さな親切」
応募字数：400字詰め原稿用紙3枚
(1200字)以内

締め切り：2024年9月20日(金) 必着

【送り先】それぞれ、
はがきキャンペーン係・作文コンクール係宛
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町2-20-4

応募要項の詳細はWEBサイトをご覧ください。
<https://www.kindness.jp/>



「小さな親切」運動は61年にわたり、「できる親切をみんなで行おう、それが社会の習慣となるように」を目標に、青少年の豊かな心を育む実践活動に取り組んできました。

中でも、「親切」をテーマに実体験を綴る「作文コンクール」や「はがきキャンペーン」は、私たちの日常生活に、たくさんの方の親切や思いやりがあることを教えてくれます。また、自分自身や身の回りに目を向けることで、地域の伝統や文化の良さに改めて気づく機会にもなります。

例えば、香川県・徳島県からは毎年、地域で大切に引き継がれている「おせっかい」を題材にした、すばらしい作文がたくさん寄せられています。

おせっかいは、四国八十八ヶ所の霊場をめぐるお遍路さんを大切にもてなす風習で、食べ物や飲み物をふるまったり、道案内をしたり、時には宿を提供したり……。子どもたちは大人たちの姿をみて、おせっかいは心を学ぶとともに、率先してお遍路さんをもてなします。

人と人が触れ合うことの大切さや感謝の気持ちは、思いやりや郷土愛を育み、SDGsの目標にある「住みつけられるまちづくり」「パートナーシップで目標を達成しよう」につながります。

今年も、作文コンクールとはがきキャンペーンの作品を募集していますので、書くことでSDGsの目標達成に貢献してみませんか。

日本が誇る美しい「棚田」を守る

～静岡県本部～

日本には「百名山」や「名水百選」など、様々な「百選」がありますが、「棚田百選」もその一つ。棚田は食文化を支えるだけでなく、日本の原風景ともいわれる美しい景観で人々の心を潤してくれますが、一部の地域では、担い手の減少や農家の高齢化などにより、これまで通りの保全活動が難しく、荒廃危機が訪れています。

そこで、農林水産省は「つなぐ棚田遺産」ふるさとの誇りを未来へ「プロジェクト」を展開し、地域の活性化に加えて、棚田の多面的な機能を深く知ってもらうため、2021年より「ポスト棚田百選」を新たに認定しています。

この活動のオフィシャルサポーターである静岡県本部(事務局：静岡総合サービス(株))は、県内2か所の棚田オーナーとして保全活動に取り組んでおり、去る5月25日(土)、「せんがまち棚田」(菊川市)で田植えを実施。参加した多くの子どもたちは、秋の豊作を願い、初めての田植えに挑戦！土の感触を楽しんでいました。

棚田で育てたお米は10月に収穫し、保育園や児童福祉施設等へ寄贈されます。美しい棚田とともに、子どもたちの笑顔も循環することを願っています。



水が冷たいけど頑張る!

森は楽しいよ

～愛媛県 内子町森林組合と林業グループ～

林業学習型アウトドアイベント「ワンツーツリーフォレスト」

イベント詳細はこちらから



毎年、愛媛県内子町で開催されているのが、林業学習型アウトドアイベント「ワンツーツリーフォレスト」。今年で7回目を迎えるこのイベントは、林業従事者の高齢化が進み、就業者数が減少する中、子どもたちに山林に親しんでもらうとともに、林業に興味をもってもらいたいとスタートしました。

林業機械を使った丸太積みやミニシャベルでの景品づくり、木こり体験など、実際の作業で使用する機械に試乗したり、道具を使って遊べるほか、農業用ドローンの操作体験などもあり、充実したイベントプログラムが満載です。今年の開催は8月24日(土)・25日(日)を予定しており、美味しい名産品が食べられるコーナーもありますので、家族みんなで参加してみたいかがでしょうか。

なお、このイベントを主催し、子どもたちに林業の魅力を伝える活動に精力的に取り組む「内子町森林組合と林業グループ」には、愛媛県本部(事務局：伊予銀行)より「小さな親切」実行章を贈呈し、同グループの活動を称えました。



のこぎり使えるかな?

ラジオ番組『身近なことからSDGs』に出演



パーソナリティの石井さん(左)と山橋専務理事

今年5月、石井麻由子さんがパーソナリティをつとめるラジオ番組『身近なことからSDGs』に、運動本部・山橋由貴子専務理事が出演しました。同番組は毎回、様々な分野で活躍する方々をゲストに招き、SDGsの目標達成に向けた取り組みを紹介しています。

山橋専務理事は、当団体が進める各種活動がSDGsの目標達成にどのように貢献しているかをお話ししました。石井さんは毎年、「小さな親切」運動全国表彰式の司会をつとめてくださっているため、山橋専務理事もリラックスしてお話できたようです。